

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第5回宍粟市観光基本計画検討委員会	
開 催 日 時	令和4年7月28日（木）15：00～17：00	
開 催 場 所	宍粟市役所 3階 庁議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	三宅 康成	
委 員 氏 名	（出席者） 上野徳之、西山大作、楳谷米男、 中元淳、片桐幸之助、志水啓吾、 岸本欣也、坂口雅彦 廣重希美、内田佳希（代理）	（欠席者） 前井真貴、加藤智子
事 務 局 氏 名	商工観光課：藤原課長、上杉係長、前野主査、久保	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="radio"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） ふるさと宍粟観光基本計画（第3次）素案について	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等		
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ ㊟	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	1 開会
委員長	多くの意見をいただいてブラッシュアップされてきている。貴重なご意見をいただき、可能な限り良い計画にしていければと思っているので、ご協力をお願いします。
	2 協議事項 ふるさと宍粟観光基本計画（第3次）素案について、事務局より説明をお願いします。
事務局	事務局より説明。
副委員長	近隣市町等との広域的な観光事業の推進の項目に関係するが、兵庫県としては、ディステーションキャンペーンや大阪万博といった流れを基に、観光施策を考えている。その一環として、西播磨県民局では、「清らかな水のさと西播磨をめぐる」というデジタルスタンプラリーのイベントを行っている。宍粟市では、滝や溪谷などが多くあり、このスタンプラリーでも15か所ほどを目的地としている。
委員	「取組内容」と「観光推進体制」は非常にボリュームが大きい。この時間枠でこれを全部片づけるのは不可能ではないか。前回の会議で、事務局から臨機応変に対応するという回答があったので、適切な対応をお願いしたい。 ふるさと宍粟の観光基本計画（第3次）についての項目で、今の表現では強く観光を推し進めるということが伝わらないので、表現を改善していただきたい。 観光のいまの項目で、全国的にはインバウンドを除くと横這いということだが、そうであるならその記載をしていただきたい。宍粟市の観光に危機感を持つために現状を把握するべきと考える。 観光入込客数の増加の目標が、平成28年度の数値に戻すということだが、目標数値に向かってどのように取り組んでいくか考える必要があるので、どこの観光地で何人等の目標数値の根拠を示していただきたい。 観光ステーションの設置の項目で、総合計画や全計画には設置すると謳われているため、再検討ではなく設置から議論を始めなければならない。したがって、取組の概要には、初めて目にする人でもわかるように、ふるさと観光ステーションとは何かを、現状と課題には、出てきた課題を、今後の取組には、問題解決のためには何をすべきかを、書く必要がある。 体験型ツーリズムの推進の項目で、既存のツーリズムと新たな体験型ツーリズム分けることに意味があるのかと感じた。 観光ガイドの育成の項目で、各ガイドは観光人材バンクの中のひとつの形だと考える。観光人材バンクの考え方の整理をしていただきたい。また、宍粟市北部では歴史ガイドがないため、今後、育成していく必要があると考えるため、「歴史・まち歩きガイドの育成」の項目を追記していただきたい。 観光資源の有効活用 の項目で、自然環境や文化遺産の保全と歴史展示施設の整備の項目を追加していただきたい。赤西溪谷の自然破壊の状況を聞いたが、今後、自然観光を進めれば同時にこのような自然破壊も進む。その

	<p>ため、エコツーリズムによる環境保全を強く打ち出さなければならない。観光客受け入れ態勢の充実 に、歴史まち歩きガイドの育成と観光まちづくり活動の支援の項目の追加をお願いしたい。</p>
事務局	<p>今回いただいた意見を含め、改めて回答させていただく。いただいた提案や質問の中には、事業として検討すべき内容であり、基本計画への記載が難しい内容等もあるため、全てを反映させることはできないがご理解いただきたい。</p>
委員長	<p>次回までに、ある程度事前に協議いただいたものを出していただきたい。</p>
委員	<p>観光まちづくりの目標 観光消費額・経済波及効果の拡大 の部分に、雇用についても目標設定してはどうか。例えば、農業をされている方が体験農園をされるなど、観光に関連して仕事をしている人数などが拡大するような施策を考えていく必要があるかと思う。</p>
委員	<p>宍粟の観光推進体制 の項目で、観光推進体制をつくるために観光プラットフォームをつくったと思っているので、必要な機能と推進体制の概要を2つに分ける必要はないと考える。また、宍粟の観光推進体制に「関係する市民の立場の役割」と「評価と検証の仕組みづくり」セクションを追加していただきたい。前計画に書かれていたが手つかずのものが多くある。この5年の間に新たに提案され実行された事業があるが、検討委員会や政策会議を通して正式決定されている基本計画にある取組が遵守されていない。基本計画を遵守せずに新たな事業ばかりすることは、基本計画を蔑ろにするものである。ここではいくら真剣に議論しても、計画に書くだけで解決されるわけではない。計画が着実に実行される仕組みが、この基本計画には抜けているのではないか。</p>
事務局	<p>後日、改めて回答させていただく。</p>
委員	<p>前回の計画では取組のスケジュール案が示してあったが、今回はないのか。</p>
事務局	<p>あくまで方針としてどのような方向性で進めるかを記載するものと考えているため、記載しない方向で考えている。</p>
委員	<p>総合計画に観光関係で実施計画が14項目示されているが、すべてをカバーできていない。つまり、実施する予定がない計画が計画に書かれているということになる。計画である以上、実施することが前提だと思うが、実施計画がないというのは矛盾していると感じる。</p>
事務局	<p>総合計画の中で、皆さんに見えている実施計画というのは予算を伴うものである。今回の基本計画も方針を立てて、全て予算化して取り組むことは不可能であるため、その中でも重点的にハードを整えるであるとか、ソフト面で進めるといった実施計画をしっかり立てる必要がある。それ以外の予算を伴わないものについても、計画がないから取り組まないということではない。どのように進めるかはしっかりとスケジューリングしていく必要があると考える。</p>
委員長	<p>事務局で修正するところがあれば、次回までに出していただきたい。</p>

委員	観光プラットフォームのイメージが共通しているか。イメージ図のようなものはあるか。
事務局	イメージ図のようなものは現時点では無いので、次回提示させていただく。
委員	例えば、課題が出て、課題に関係しそうな業者、お店、生産者をその場に集めて意見を出し合い、案やものを作り出していくイメージであっているか。また、集める役割はだれが担うのか。
事務局	その理解であっている。運営母体はしそ森林王国観光協会に担っていただく。その状況をより進めていくために、観光プラットフォームを組織化する観光地域づくりミーティングの取り組みも進めている。
委員	ふるさと宍粟観光プラットフォーム設置要綱を、7月1日付けで運用開始した。次回の検討委員会で、要綱及び運営委員の名簿を配布させていただく。運営委員は定めているが、例えばブランド品を作りたいというような提案に対して、運営委員が話し合うのではなく、部会を作り、部会で協議するといった組織としている。観光プラットフォームの役割というのは、あくまでもそれぞれの事業者を中心とした集まりが、結果として宍粟市の観光に結びつくものを企画したり提案したり、あるいは新しい事業の提案や、予算の要求を行うなど、そのような組織になっていけば、すばらしい組織になるのではないかと考えている。
委員	プラットフォームにオブザーバーとして参加できないか。
事務局	調整させていただく。
委員長	プラットフォームによって、意見が言える窓口があるということは重要と感じた。
委員	条例というものは「しなければならない」という表現なのか、「努めなければならない」「努力をしなければならない」という表現なのかで、大きく施策が違ってくる。ふるさと宍粟観光基本計画の条例は、努めなければならない、努力をしていきましょうと作ってある。そこが基本計画どおりに上手く進まないことにもつながっている。なるべく改善していけるように、プラットフォームの構築の一つの引き金になればと思う。
委員	観光入込客数の増加 で目標が示されているが、宍粟市の弱点は宿泊者数だと考える。宿泊者数の目標は後でできるのか。 観光客の満足度向上 について今回の観光基本計画は自然資源や、歴史文化のことは記載してあるが、若者の文化、例えば宿泊したときの夜の楽しみなどが感じられない。それについては、今後どのようにしていくのか。 市民の満足度向上 について、市民はこの観光基本計画ができてどのように思われるのか。定住者や、若い人を増やす取り組みにつながればよいと思うが、そのような部分に目標を持たれるか。
事務局	宿泊者数については、着地型観光という点でも進めていきたいが、数字が正確にとれるのかということもあるので、目標数値としての記載は難しいと考える。夜の楽しみといったところで、ナイトツーリズムなど各事業者でされている。しかし、今のところ資源としてあっても、発掘・整備が

	できていないと思うので、今後できればと思う。市民の満足度向上に関しては、アンケート項目については、どこを改善すればよいかのわかるようなデータのとり方を今後しっかり考えていく。
委員	宿泊施設数をどう強化していくのか、テーマとして持ってもよいと感じる。宿泊者数を増やすためにも、例えば、空き家を活用する形で宿泊できる場所を確保する等、宿泊施設を増やすことをサポートする取組等もいいのではと感じる。
事務局	目標数値には過去の推移をみるためにも入込客数を目標数値としているが、宿泊者数を伸ばす必要もあると感じている。例えば、宍粟市アウトドア活動推進計画に記載のあるように、北部地域に多くのアウトドア資源があることから、アウトドアの振興による滞在時間の長期化等が図れればと思っている。このように、宿泊者数を目標数値にはしませんが、アウトドア等を振興しながら、空き家の活用等で宿泊の受け皿の強化の必要性も感じている。
委員	夜はその場で体験できる星空観察やバーベキューが人気。地元の人が庭でできることが、市外から来る人が宍粟でできることであり、地元の人が当たり前にしていることがうれしい体験になる。宿泊施設が少ないというのはすごく感じており、宿泊が予約いっぱいの場合、断ることになるが、観光の経済の流れにとってすごくマイナスだと感じる。他にどこか紹介できるようなこととの連携がないということも問題かと思う。空き家を活用した民泊も、地元の人ができるような田舎体験を売りにすることで人件費がかからないなど、ハードルが高くないことができる。まずは、今ある資源を活用することが良いと感じる。
委員長	イギリスでは宿泊事業者同士でネットワークを組んで、自身の施設の予約が埋まっている時に、他の施設を紹介するという制度があり、互いに紹介し合うことで全体が良くなっていくという相乗効果がある。プラットフォームのなかでそのような機能を果たしていただけると、全体的に底上げできると感じた。また、断る際に、相手の希望を聞き、希望に沿ったところを紹介するということがされていたという事例がある。
委員	同じ施設に通年で人が入っているというのではなく、季節によって場所を変えて訪れてもらうような、的を絞った呼び込み方が流行っているかと感じる。新潟の信濃川の例であるが、新潟市の管理のもと、民間事業者であるスノーピークが入って、イベント等を行っている。宍粟市では、揖保川を活用するなどが考えられると思う。例えば、グルメフェス等の目的意識をもってきてもらうイベントを行い、宿泊につなげるのも良いのではと思う。
委員	宿泊施設に付け加え、温泉という言葉が入ると、興味を持ってもらえると思う。他の事例等を参考に考えると良いと考える。インバウンドにおいては、高山市などがどのような取組をしているのか等、全国的に成功している事例を参考にすると良いと考える。
委員	よい温泉の奥にグランピングができています。泊まっていた方には、何度でも温泉を利用できる券を渡す等、温泉施設とのコラボを考えられている。

副委員長	<p>宍粟市は名水が多く、県内でもなかなかないため、宍粟市の魅力のひとつになると感じた。宍粟市の知名度向上で知名度の指標としてHPの閲覧数を目安とするとあるが、若い世代はHPを見ずにインスタグラムで検索することが多いため、HPだけでいいのか疑問である。また、HPの更新等は費用が掛かることであるため、HPの表示回数のみとすると、後々しんどくなるのではと考える。どういう表現をするか検討する必要があると感じる。</p>
委員	<p>検討委員会で出た意見を、議事録に書くだけでなく、観光プラットフォーム等で活用する仕組みを考えていただきたい。</p>
委員	<p>アウトドアを推進する中で痛手なことは雨がふることである。市内でアウトドアを推進するなら、雨だから中でということだけでなく、森等を活用し、雨でも外で楽しめるということを出すと、中で宿泊できる場所が必要だと感じた。</p>
委員	<p>何か行事等をしたときに、情報発信をすることはできないか。HPは実際あまり見られていないと感じており、そこにいくらアップしても誰の目に届くのかと思う。公的機関でどこまで可能かはわからないが、インスタグラムやツイッターなどのSNSで情報発信することで、幅広い年齢層に届くのではないかと感じた。</p>
事務局	<p>HPの閲覧数という目標及びSNSによる情報発信等も含め、検討・研究させていただく。</p>
委員	<p>情報発信の母体がどれだけ良いものを発信しても、それをフォローしていない人には届かないので、市内でたくさんシェアする仕組みなどを作る必要がある。</p>
委員	<p>自分たち主催の情報でなくとも、アップすることで見ていただいている方への情報発信につながる。</p>
委員長	<p>多くの意見が出たので、事務局で検討していただきたいと思う。続いて、3 その他 について、事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>3 その他 当初予定では次回が最終となる。観光基本計画としてはご意見いただいたと認識している。次回、いただいた意見を反映したものを提示させていただき、最終決定というかたちで進んでいきたいと考えている。</p>
副委員長	<p>4 閉会 新型コロナウイルスの感染状況が懸念される。旅行業者などにヒアリングすると、キャンセルが増加しているが、音水湖にヒアリングすると、夏休みでアウトドアということもあり土日は賑わっているとのことだった。訪れる人が増えることで、運営がしっかりできるように、やり方を工夫するなど、事業者としてレベルアップしており、宍粟市にとっても明るい話題と感じた。プラットフォームの動きも出ているので、日々の積み重ねで観光が盛り上がっていくのではと感じる。次回、開催時にはコロナも落ち着いて観光が盛り返している状況でお会いできたらと思う。</p>

* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。